

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2020年12月22日発行

兵庫のみ研究所

この海域西部を中心にキートセロスやコシノディスカスを含め複数種の珪藻が多く発生しています。今回調査は下げ潮～干潮時で、西部域の海水が林崎新漁場中央付近にまで波及していたこともあり、窒素は陸水等の影響が見られた一部を除き漁場全般に1～2 $\mu\text{g-at/L}$ でした。

(水温) 漁場内平均12.5 $^{\circ}\text{C}$ 。平年比0.2 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比2.0 $^{\circ}\text{C}$ ともに低い。(塩分) 平均31.51psu。前回(31.96)より0.45psu低い。
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスが海域全般に散見(海水1Lあたり40～100細胞)される。また小型のキートセロスを中心として、スケルトネマやタラシオシラ・群体を形成して綿埃状に見えるもの・筒状の連鎖型珪藻など複数種がこの海域西部を中心に多く発生しており、時化直後であった前回(12/17)調査と比較し増加している。窒素は、これら珪藻が含まれる海水が見られた林崎新漁場中央部以西で全般に1～2 $\mu\text{g-at/L}$ 、明石海峡部周辺の海水の影響が見られた林崎新漁場東部以東で3 $\mu\text{g-at/L}$ 前後であった。同潮時(干潮止まり)で採水した12月7日調査では1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下のかかなり低い状況であったが、今回調査では全般に1.5 $\mu\text{g-at/L}$ 前後の値を示しており栄養塩の底上げが認められる。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	14.2	12.5	12.7	14.5
窒素	2.6	2.7	5.6	4.9
リン	0.48	0.44	0.57	0.59

(12/17)

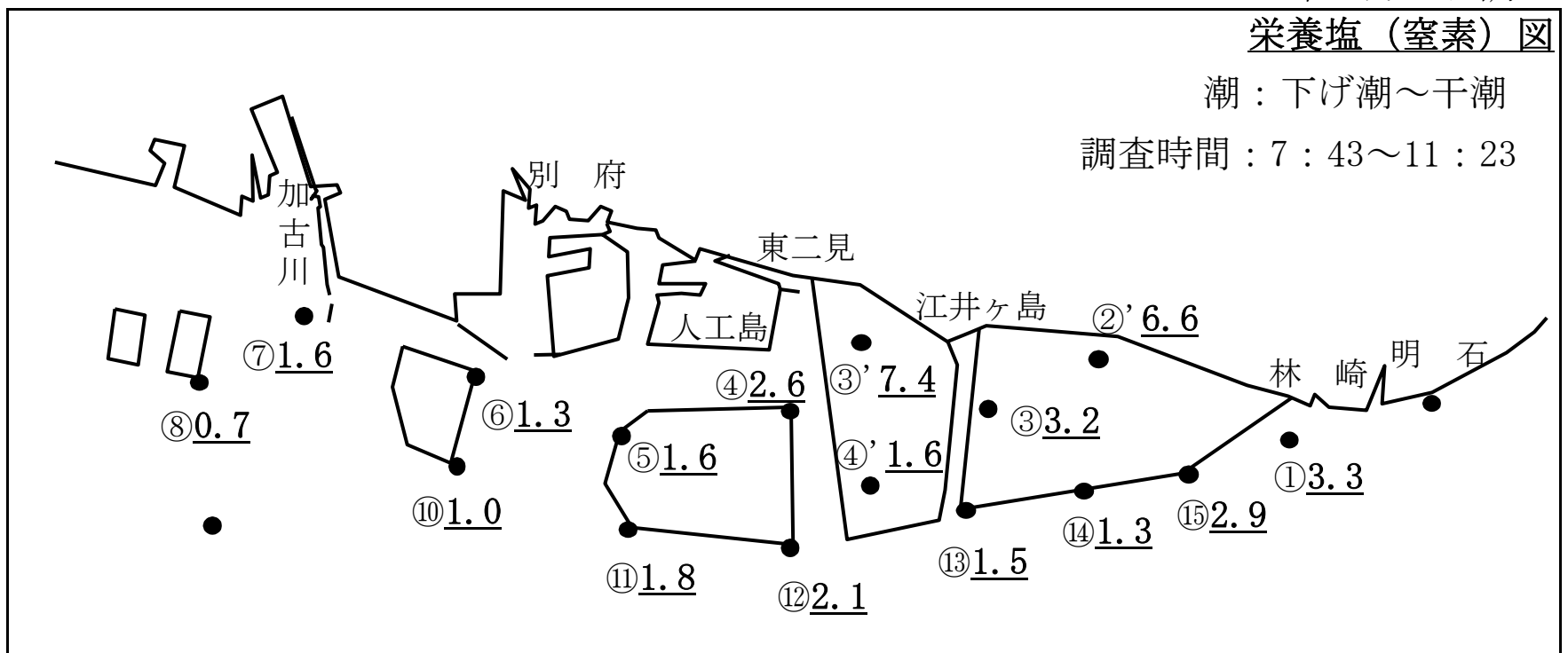
12月下旬 (12/26)

2020年12月22日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：下げ潮～干潮

調査時間：7:43～11:23



水温図

